

厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患等政策研究事業）
分担研究報告書

拡張型心筋症の心機能推移評価

研究分担者 猪又 孝元 新潟大学 大学院医歯学総合研究科循環器内科学・教授

研究要旨

心筋症の診療・研究の課題を抽出・整理し、取り組むべき問題点を明らかにすることが、本事業での目的である。この分担研究では、拡張型心筋症における左室駆出率の推移、すなわち左室リモデリングとその影響因子を検討することにある。その研究の推進にあたり、本年度は画像および生検サンプルが検討に値するものとして保存されていることが確認され、学会などを通じた全国の研究者への研究シーズ提案に取り組んだ。

A. 研究目的

拡張型心筋症の左室駆出率の推移とその影響因子を検討する方法論を確立する。

B. 研究方法

2020年以降に当科に入院した拡張型心筋症患者の各種臨床データの取得および保存の状況を確認し、次研究ステップへ備える。

（倫理面への配慮）

検討へ向けての準備段階プロセスのため、倫理審査に該当しない。

C. 研究結果

これまで125名の対象患者が存在し、抜けデータのない形で検査値、画像データ、心筋生検標本が保存されていることが確認された。

D. 考察

左室駆出率の改善を伴う左室リモデリングは良好な予後予測因子であるが、画像や生検標本を用いた推測法の開発が求められる。

E. 結論

後向きにデータ保存と活用の状況を踏まえ、心機能推移にまつわる解析を進める拡張型心筋症患者集団が確認された。

F. 健康危険情報

総括研究報告書に記載

G. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表(発表誌名巻号・頁・発行年等も記入)

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む。）

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他